

学会記事

【第9回総会】 (2016年6月18日(土), 筑波大学筑波キャンパス1D201教室, 出席者53名)

呉羽正昭庶務委員長の開会の辞のあと, 小口千明評議員を議長に選出し, 橋爪孝介庶務委員を書記として選出し総会が始められた。

I. 会務報告について

山下清海常任委員長より会員数(2015年6月8日現在, 343名), 第8回大会の開催, 第19~20回例会の開催, 機関誌「地理空間」第8巻1~2号の刊行, ニュースレター(第22~24号)の発行, ホームページおよびメーリングリスト(jags-ml)の運営, 日本学術会議協力学術研究団体の認定(2013年9月24日), および2016年度地理空間学会学会賞(詳細は以下の通り)について報告があり, 承認された。

【学術賞】

久保倫子(受賞対象: 久保倫子『東京大都市圏におけるハウジング研究-都心居住と郊外住宅地の衰退-』古今書院, 208p., 2015年3月)

秦 洋二(受賞対象: 秦 洋二『日本の出版物流通システム-取次と書店の関係から読み解く』九州大学出版会, 191p., 2015年3月)

吉田国光(受賞対象: 吉田国光『農地管理と村落社会-社会ネットワーク分析からのアプローチ-』世界思想社, 202p., 2015年3月)

【奨励賞】

福本 拓(受賞対象: 福本 拓・藤本久司・江成 幸・長尾直洋「集会的消費の変質に着目した外国人受入れ意識の分析-三重県四日市市の日系ブラジル人集住地区を事例に-」『地理学評論』88:341-362, 2015年7月. 福本 拓「土地売買の観点からみたエスニック空間の形成過程-大阪市生野区新今里地区における花街から韓国クラブ街への変貌-」『地理空間』8: 197-217. 2015年12月. Fukumoto, T.: The Persistence of the Residential Concentration of Koreans in Osaka from 1950 to 1980: Its Relation to Land Transfers and Home-work Relationships. Japanese Journal of Human Geography (Jimbun Chiri) 65: 475-493. 2013年12月)

II. 2015年度決算報告・監査報告について

山下亜紀郎会計委員長より2015年度の一般会計および特別会計の決算案が提示された。その収支について矢ヶ崎典隆会計監査より, 適正であることが報告された。2015年度決算案は異議なく承認された。

III. 2016年度事業計画について

山下清海常任委員長より2016年度事業計画について, 「地理空間」第9巻1~2号の刊行, 第10回大会の開催(筑波大学東京キャンパス文京校舎予定), 例会の開催, 学会賞や若手研究者助成による研究奨励, ニュースレターの発行(発表要旨特別号の発行を含む), ホームページとメーリングリストの管理・運営が

提案された。2016年度事業計画は異議なく承認された。

IV. 2016年度予算案について

山下亜紀郎会計委員長より2016年度予算案について、収入と支出に関する説明がなされ、異議なく承認された。

V. 役員・専門委員会の構成について

山下清海常任委員長より役員および専門委員会（2016年7月1日～2018年6月30日）の構成員（下記）が提案され、異議なく承認された。

会 長：矢ヶ崎典隆（日本大）

会計監査：田林 明（筑波大名誉）、淡野明彦（奈良教育大名誉）

常任委員：松井圭介（常任委員長，筑波大）、呉羽正昭（庶務委員長，筑波大）、山下亜紀郎（会計委員長，筑波大）、森本健弘（集会委員長，筑波大）、堤 純（編集委員長，筑波大）

評 議 員：井田仁康（筑波大）、伊藤徹哉（立正大）、小口千明（筑波大）、小野寺 淳（茨城大）、加賀美雅弘（東京学芸大）、兼子 純（愛媛大）、川瀬正樹（広島修道大）、菊地俊夫（首都大学東京）、呉羽正昭（筑波大）、小林岳人（千葉高）、篠原秀一（秋田大）、須山 聡（駒澤大）、平 篤志（香川大）、高橋重雄（青山学院大）、堤 純（筑波大）、中西僚太郎（筑波大）、中村周作（宮崎大）、中村理恵（前橋高）、仁平尊明（北海道大）、根田克彦（奈良教育大）、橋本雄一（北海道大）、平岡昭利（下関市大名誉）、松井圭介（筑波大）、丸山浩明（立教大）、村山祐司（筑波大）、森本健弘（筑波大）、山下亜紀郎（筑波大）、山下清海（筑波大）、山下宗利（佐賀大）、若本啓子（宇都宮大）

<専門委員会>

庶務委員会：呉羽正昭（委員長）、市川康夫（副委員長）、児玉恵理、中川紗智、橋爪孝介

会計委員会：山下亜紀郎（委員長）、麻生紘平、猪股泰広、栗林 慶、羽田 司、福井一喜

集会委員会：森本健弘（委員長）、池田真利子、石坂 愛、遠藤貴美子、坂本優紀、佐野浩彬、矢ヶ崎太洋

編集委員会：堤 純（委員長）、橋本暁子（副委員長）、飯塚 遼、井口 梓、石井久生、磯野 巧、伊藤徹哉、大石貴之、片岡博美、久木元美琴、小島大輔、佐藤大祐、田中耕市、淡野寧彦、仁平尊明、林 琢也、平井 誠、福本 拓、藤田和史、山本健太、吉田道代

（書記）：小野澤泰子、本多広樹、益田理広、遊佐 暁、渡邊瑛季

学会賞選考委員会：村山祐司（委員長）、井田仁康、岩間信之、中村周作、仁平尊明、横山 智

（※2016年7月1日～2017年6月30日，1年間）

VI. 学会誌の刊行形態について

山下亜紀郎常任委員より機関誌「地理空間」の刊行形態について、年2回の紙媒体での印刷・発行を維持

すること、オーバーチャージを12頁までは無料、13～20頁を1頁あたり10,000円、21頁以降は印刷にかかる実費(1頁あたり5,000～10,000円程度)に変更すること、特集論文(シンポジウム報告を含む)は各巻3号(年度末発行)としてオンライン版(電子版)のみの発行とすること、特集論文の企画代表者(学会員に限る)は編集委員会にゲストエディターとして加わり当該論文の査読・編集に携わること、特集論文の掲載・発行にかかる実費相当額(1頁あたり2,000円程度)を企画代表者(または論文の著者)が負担すること、オンライン版は発行後速やかに、紙媒体の1～2号は従来通り次号の発行時に学会ホームページで公開すること、将来的にJ-STAGEへの登録・公開を検討することが提案された。これに対し、紙媒体を購入する大学図書館等に対するオンライン版の取り扱い、希望者へのオンライン版の有償印刷・送付導入、刊行形態の変更時期について質問・意見が出された。審議の結果、特集論文をオンライン版で刊行することを含む、上記案が承認された。ただし、オンライン版の刊行開始時期や刊行形態など、刊行に伴う具体的内容については、常任委員会で継続して検討することとなった。

Ⅶ. その他

なし。

以上で議事を終了し、議長による書記と議長の解任が行われた。呉羽庶務委員長の閉会の辞をもって、総会は終了した。

【大会報告】

第9回(2016年6月18日～6月19日、於：筑波大学筑波キャンパス第1エリア、参加者84名)

・一般口頭発表

佐野浩彬(筑波大・院)：徒歩避難に伴う環境的影響を考慮した津波避難圏域の分析－静岡県浜松市西区を事例に－

吉次 翼(慶應大 SFC 研)・矢ヶ崎太洋(筑波大・院)：宮城県石巻市における復興事業の進捗と都市構造の変容

Ronald C. Estoque(筑波大)：Spatial relations between land surface temperature and impervious surface and greenspace density in Bangkok, Jakarta and Manila

澁谷和樹(立教大・院)・杜 国慶(立教大)・野津直樹(株ナビタイムジャパン)：APP データにみるインバウンド訪問者の流動構造

小林岳人(県立千葉高)：地図学習教材としてのオリエンテーリング地図

久保倫子(岐阜大)・駒木伸比古(愛知大)・田中健作(豊田工業高専)：岐阜市郊外住宅地における高齢化・空き家化の進展と居住環境の実態

栗林 賢(北海道教育大)：JA による卸売市場の集約化とその背景－JA つがる弘前を事例に－

白坂 蕃(東京学芸大・名誉)：パミール北部カラ＝クル村における“遊牧的”牧畜

・シンポジウム「増加する在留外国人とホスト社会としての日本—その動向と課題—」

オーガナイザー：山下清海（筑波大）

山下清海（筑波大）：在日外国人の日本社会への適応戦略の多様化

福本 拓（宮崎産業経営大）：現代日本における国籍取得に伴うエスニック・バウンダリーの溶解—空間的側面に着目して—

片岡博美（近畿大）：在留外国人を交えた地域防災を考える—日系ブラジル人の事例から—

・ポスター発表

小泉茜彩子（筑波大・院）：国際合弁企業における企業空間の変容—サハリン2プロジェクトの運営企業を事例に—

松山周一（筑波大・院）：マンガ家の場所の経験と描写について—北条司を事例に—

橋爪孝介（筑波大・院）：伊勢志摩サミットにおける警備態勢の時空間展開

金子紗恵（筑波大・院）：都市観光におけるコミュニティサイクル利用観光者の行動特性—東京ベイエリアを事例として—

渡辺隼矢（筑波大・院）：位置情報付き Twitter 投稿データを利用した観光行動の可視化—金沢市を事例に—

高原祥樹（筑波大・院）：讃岐うどんブームにおけるフードツーリズムの形成・継続要因

武智玖海人（筑波大・院）：栃木県日光地域における訪日外国人観光による地域性の創発過程

・巡検

「“TOKYO 2020” がもたらす水彩都市の空間再編—土地利用から紐解く港湾埋立の歴史とこれから—」

（参加32名）

オーガナイザー：猪股泰広・玉 小・佐野浩彬・曾 斌丹・中川紗智・本多広樹

【地理空間学会会則】

地理空間学会ホームページをご参照下さい。

URL: <http://jags.ne.jp/>

【編集委員会からのお知らせ】

2016年4月～2016年9月:「リサーチ・ペーパー」3編,「地理資料」1編について閲読結果をもとに検討し,「リサーチ・ペーパー」3編,「地理資料」1編を受理した。

【次号以降の投稿について】

第10巻1号は, 2017年6月20日の発行を予定しております。第10巻1号の原稿については随時受け付けておりますが, 第10巻1号に掲載されるには, 2017年3月末までに受理が出ている必要があります。内容は最新の論争から時事性, トピック性の高いテーマ, 丹念な調査に基づく活きのよい事例研究まで幅広く

受け付けております。会員皆様の活発な寄稿をお待ちしております。

オンライン版の第10巻3号(2018年3月発行)への特集企画がある会員は、2017年9月末日までに編集委員会までお知らせ下さい。

本学会の活動を幅広く認知してもらうために、会員の皆様の大学研究室や大学・高校の図書館におきまして、会誌『地理空間』の定期購読を是非ご検討のほどお願いいたします。ご購入いただける場合には、編集委員会(geospace@geoenv.tsukuba.ac.jp)までお知らせください。

【投稿規程 & 執筆要項】

地理空間学会ホームページをご参照ください。

URL : <http://jags.ne.jp/>

【会員消息】

本学会会員 徳久球雄氏が2016年11月に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

【新入会員】(2016年5月14日から2016年11月18日)

福井大也(日本大・学)

王 維(長崎大)

(会員数: 345名, 2016年11月18日現在)